

平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月20日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 サンワドー

コード番号 7430 URL <http://www.sanwado.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 勝弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役商品開発担当 兼 管理担当 (氏名) 後藤 昭一

TEL 017-782-3200

四半期報告書提出予定日 平成24年9月28日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	15,469	0.4	456	△6.6	473	△2.1	261	206.2
24年2月期第2四半期	15,404	6.8	489	62.9	483	77.7	85	△7.9

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 247百万円 (—%) 24年2月期第2四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	49.60	—
24年2月期第2四半期	16.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第2四半期	17,306	4,846	28.0	918.07
24年2月期	17,502	4,663	26.6	883.26

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 4,846百万円 24年2月期 4,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	4.0	1,000	15.1	1,000	14.7	400	61.0	75.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期2Q	5,280,000 株	24年2月期	5,280,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年2月期2Q	528 株	24年2月期	528 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期2Q	5,279,472 株	24年2月期2Q	5,279,472 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年2月21日～平成24年8月20日）における我が国経済は、平成24年9月10日内閣府発表の4～6月期の実質GDPが前期比+0.2%（年率+0.7%）と4四半期連続でプラスとなりました。これは、震災による復興関連等の国内需要が堅調に推移したことや、エコカー補助金制度等の政府施策により個人消費及び公共投資が緩やかに回復したことによるものと思われます。一方で国内における電力不足問題、原油価格の高騰、長引く円高、欧州債務問題に端を発した海外景気の減速等、国内景気の下押しリスクが払拭されず、景気先行きの不透明感は今後も続くものと思われます。

このような経営環境の中、当社グループの営業面では、第1四半期において春先の低温、暴風雨等の天候不順による農作業、園芸作業の立遅れから、少なからず影響を受けました。その後、天候回復と相俟って農業資材、肥料、用土、作業衣料の売上げが勢いを取り戻し、夏物衣料、レジャー用品、ギフト用品等の早期展開と食品部門が持続的に堅調に推移していることから、売上高は前年同期並みの実績を確保できました。

一方、経費面では水道光熱費が夏場の猛暑続きと、前年震災直後からの緊急的な削減策が徐々に解消されたことによって増加しましたが、引き続きリース料の圧縮、包装資材、消耗資材等の節減に取組み、販売費及び一般管理費は前年同期比横這いとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,469百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は456百万円（前年同期比6.6%減）、経常利益は473百万円（前年同期比2.1%減）と増収減益となりました。営業利益及び経常利益の減益要因は、主に食品部門の売上構成比の上昇によって粗利率が低下したためであります。一方、四半期純利益は261百万円（前年同期比206.2%増）と増益となりました。増益の要因は、前第2四半期連結累計期間において、「資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額」等による特別損失170百万円の計上がありました。当第2四半期連結累計期間において特別損失が大幅に減少したためであります。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

「リビング」

「リビング」の売上高は、4,460百万円（前年同期比9.0%減）となりました。7月下旬からの猛暑により、夏物衣料、扇風機、よしず、台所用洗剤等が好調で売上を伸ばしました。一方、6～7月の低温により、殺虫剤、制汗剤・ボディシートの季節商品の低調であったほか、震災需要の反動により、紙おむつ、乾電池、ガスボンベ、ローソクが売上を落としました。特に薄型液晶テレビや地上デジタルチューナーが昨年の地上デジタル放送完全移行による特需の反動で大きく売上を落としました。

この結果、セグメント利益は21百万円（前年同期比59.4%減）となりました。

「食品」

「食品」の売上高は、4,873百万円（前年同期比9.1%増）となりました。震災需要の反動により缶飲料、ペット飲料、冷凍品が売上を落とし、低温の影響で夏物商品である素麺、麦茶、涼菓子等が不調となりました。反面、従来より進めている食品部門の強化により、冷蔵品、日配品を強化・拡充したことや、ビール等酒類の新製品・限定品の早期導入及び価格訴求が奏功し売上を大きく伸ばしました。

この結果、セグメント利益は143百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

「DIY&グリーン」

「DIY&グリーン」の売上高は、3,460百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

「DIY」については、第1四半期での雪害による修繕の需要で、住宅の屋根・壁等に使用する木材、建築資材の売上が好調に推移しました。また、修繕作業に使用する電動工具、脚立や投光器等の屋外作業用品が堅調でした。

「グリーン」については、3～4月の大雪と残雪で農作業並びに家庭園芸の動きが遅れ、農業資材、用土・肥料及び花苗が売上を落としました。しかし、5月頃からの気温上昇に伴い、立ち遅れていた園芸全般が売れ始めたことで、売上を巻き返しました。

この結果、セグメント利益は174百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

「カー&レジャー」

「カー&レジャー」の売上高は、1,913百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

「カー」については、車内用の香水や小物類は好調に推移しているものの、夏タイヤの不振に加え、震災特需のインバーター、ガソリン携行缶が大きく売上を落としたほか、昨年7月の地上デジタル放送完全移行に伴うワンセグ付きポータブルナビ、チューナー等も売上を落としました。

「レジャー」については、3～4月の降雪と雪解けの遅れから自転車が大きく売上を落としたほか、6～7月の低温が災いし、ランタン、燃料、保冷剤、クーラーボックスが売上を落としました。

この結果、セグメント利益は27百万円（前年同期は1百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ196百万円減少し、17,306百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し、5,379百万円となりました。主に、現金及び預金が55百万円減少しましたが、商品及び製品が季節商品の品揃え等により75百万円、有価証券が10百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ226百万円減少し、11,926百万円となりました。主に、投資有価証券が貸付債権信託の期日前償還等により104百万円、敷金及び保証金が約定返済等により77百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ709百万円減少し、8,073百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金が仕入高増等により602百万円増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金が約定返済により729百万円、短期借入金が約定返済により440百万円、未払法人税等が91百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ329百万円増加し、4,386百万円となりました。主に、社債が340百万円減少しましたが、長期借入金が長期運転資金の新規調達等により673百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ183百万円増加し、4,846百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が14百万円減少しましたが、利益剰余金が198百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は28.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、575百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、839百万円（前年同期は1,123百万円の獲得）となりました。

これは主に、法人税等の支払額が301百万円、たな卸資産の増加が75百万円となりましたが、仕入債務の増加が610百万円、税金等調整前四半期純利益が472百万円、減価償却費が119百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、148百万円（前年同期は148百万円の獲得）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が79百万円、投資有価証券の取得による支出が29百万円となりましたが、投資有価証券の償還による収入が110百万円、敷金及び保証金の回収による収入が104百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,006百万円（前年同期は682百万円の使用）となりました。

これは主に、長期・短期借入金の純減が496百万円、社債の償還による支出が420百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年6月20日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	621,947	566,553
受取手形及び売掛金	331,880	384,861
有価証券	41,558	52,155
商品及び製品	4,094,309	4,169,346
繰延税金資産	89,220	92,607
その他	170,744	114,182
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	5,349,652	5,379,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,288,094	2,208,374
土地	5,437,847	5,488,963
その他(純額)	212,428	196,135
有形固定資産合計	7,938,370	7,893,474
無形固定資産		
	20,819	20,094
投資その他の資産		
投資有価証券	847,100	742,546
繰延税金資産	95,118	99,075
敷金及び保証金	2,797,934	2,720,594
その他	461,502	458,589
貸倒引当金	△7,570	△7,529
投資その他の資産合計	4,194,084	4,013,277
固定資産合計	12,153,274	11,926,846
資産合計	17,502,926	17,306,546
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,947,618	3,549,693
短期借入金	1,930,000	1,490,000
1年内返済予定の長期借入金	2,048,480	1,318,765
1年内償還予定の社債	760,000	680,000
未払法人税等	312,220	220,291
賞与引当金	35,220	35,715
役員賞与引当金	10,700	7,100
ポイント引当金	74,510	80,235
その他	664,279	691,492
流動負債合計	8,783,028	8,073,293
固定負債		
社債	1,630,000	1,290,000
長期借入金	1,691,900	2,365,275
退職給付引当金	232,534	245,542
役員退職慰労引当金	74,100	75,820
資産除去債務	219,157	220,931
その他	209,085	188,736
固定負債合計	4,056,777	4,386,305
負債合計	12,839,805	12,459,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,025	704,025
資本剰余金	747,805	747,805
利益剰余金	3,188,420	3,386,936
自己株式	△261	△261
株主資本合計	4,639,988	4,838,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,131	8,441
その他の包括利益累計額合計	23,131	8,441
純資産合計	4,663,120	4,846,947
負債純資産合計	17,502,926	17,306,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)
売上高	15,404,300	15,469,621
売上原価	12,090,467	12,185,233
売上総利益	3,313,833	3,284,388
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,091,289	1,082,265
広告宣伝費	168,533	166,499
不動産賃借料	473,764	474,243
賞与引当金繰入額	29,350	35,715
役員賞与引当金繰入額	7,300	7,100
ポイント引当金繰入額	73,448	80,235
退職給付費用	14,061	27,704
その他	966,962	953,664
販売費及び一般管理費合計	2,824,709	2,827,428
営業利益	489,123	456,959
営業外収益		
受取利息	5,375	2,778
受取配当金	11,498	9,853
不動産賃貸料	14,603	18,042
発注システム使用料	13,727	14,280
その他	41,388	21,861
営業外収益合計	86,592	66,816
営業外費用		
支払利息	56,938	43,445
社債発行費償却	22,676	—
支払保証料	5,021	3,503
その他	7,455	3,556
営業外費用合計	92,091	50,505
経常利益	483,625	473,270
特別利益		
固定資産売却益	114	143
役員退職慰労引当金戻入額	50	—
貸倒引当金戻入額	208	—
特別利益合計	373	143
特別損失		
固定資産売却損	13	356
固定資産除却損	2,094	284
投資有価証券評価損	14,760	—
災害による損失	31,562	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	122,524	—
特別損失合計	170,955	641
税金等調整前四半期純利益	313,043	472,772
法人税、住民税及び事業税	195,693	210,831
法人税等調整額	31,814	70
法人税等合計	227,508	210,902
少数株主損益調整前四半期純利益	85,534	261,870
四半期純利益	85,534	261,870

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	85,534	261,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126,616	△14,690
その他の包括利益合計	△126,616	△14,690
四半期包括利益	△41,081	247,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,081	247,180
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	313,043	472,772
減価償却費	110,629	119,220
災害損失	31,562	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	122,524	—
固定資産売却損益(△は益)	△100	212
固定資産除却損	2,094	284
投資有価証券評価損益(△は益)	14,760	—
売上債権の増減額(△は増加)	△61,513	△45,228
たな卸資産の増減額(△は増加)	△105,464	△75,036
仕入債務の増減額(△は減少)	747,085	610,334
その他	161,830	46,674
小計	1,336,450	1,129,233
利息及び配当金の受取額	16,548	13,775
利息の支払額	△55,280	△40,394
保険金の受取額	735	38,609
法人税等の支払額	△162,161	△301,868
災害損失の支払額	△12,370	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,123,923	839,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58,991	△79,110
投資有価証券の取得による支出	△33,059	△29,335
投資有価証券の売却による収入	40,210	65,033
投資有価証券の償還による収入	30,000	110,000
敷金及び保証金の差入による支出	△52,982	△27,240
敷金及び保証金の回収による収入	252,038	104,339
その他	△28,987	4,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	148,228	148,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,550,000	2,130,000
短期借入金の返済による支出	△2,630,000	△2,570,000
長期借入れによる収入	1,075,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,114,968	△1,556,340
社債の発行による収入	977,324	—
社債の償還による支出	△470,000	△420,000
配当金の支払額	△52,630	△63,176
その他	△17,583	△27,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	△682,857	△1,006,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,763	118
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	586,530	△19,051
現金及び現金同等物の期首残高	443,514	594,760
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,030,045	575,708

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年8月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リビング	食品	D I Y & グリーン	カー& レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,903,106	4,468,540	3,448,422	2,065,391	14,885,461	518,839	15,404,300	—	15,404,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	814	12	608	10,684	12,120	5,642	17,763	△17,763	—
計	4,903,921	4,468,553	3,449,030	2,076,076	14,897,582	524,481	15,422,063	△17,763	15,404,300
セグメント利益	53,460	136,257	171,142	1,362	362,223	7,626	369,849	119,274	489,123

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額119,274千円には、支払利息の調整額56,938千円、社債発行費償却の調整額22,676千円、支払保証料の調整額5,021千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額28,500千円及び当社グループ間取引に係る調整額6,138千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年8月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リビング	食品	D I Y & グリーン	カー& レジャー	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,460,819	4,873,607	3,460,362	1,913,242	14,708,032	761,589	15,469,621	—	15,469,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	771	16	189	13,945	14,923	6,940	21,864	△21,864	—
計	4,461,591	4,873,624	3,460,551	1,927,188	14,722,955	768,530	15,491,485	△21,864	15,469,621
セグメント利益	21,711	143,527	174,064	27,067	366,371	11,007	377,378	79,580	456,959

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、テナント、レンタカー及び自動車部品卸売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額79,580千円には、支払利息の調整額43,445千円、支払保証料の調整額3,503千円、当社グループ間の不動産賃貸料の調整額28,500千円及び当社グループ間売上に係る調整額4,131千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。